

徳島文理大学通信



徳島文理大学
アドミッションズ・オフィス
徳島市山城町
〒770-8514
☎088-611-3755

人間福祉学部人間福祉学科 工学部臨床工学科 スタート

人間福祉学部人間福祉学科

平成19年4月徳島キャンパスに人間福祉学部人間福祉学科を開設する。

今わが国では、保健・医療・福祉・教育分野の専門性を高め、国民すべてが安心して暮らせるよう、サポートできる専門職の養成が急務となっている。特に、少子高齢社会など、社会の変化が著しく進行する福祉領域の分野では、生活全体に関わる健康管理を含む多様な研究や実践が求められるようになってきている。

そのような中で、本学では、社会の変化とともに生じるさまざまな福祉領域へのニーズに応えられる機動性を持った体制の充実を図り、人間の健康と福祉の分野についてより深く、独自性を持った体系を構築するために、人間福祉学部人間福祉学科を設置した。

援助の方法などの幅広い知識と技術を備え、課題の発見や問題解決能力を身につけた、新しい時代の要請に応えられる社会福祉士(国家資格)、精神保健福祉士(国家資格)を養成する。また、高等学校教諭一種免許状(福祉)の取得など、教育面から福祉社会の充実に貢献できる人材の養成にも努める。

本校の校章は、アカンサス・モリスの葉を河野太郎元教授により図案化したものである。アカンサスは地中海沿岸の原産で、アザミに似た多年草または小灌木で、その名称はギリシャ語の「棘」に由来しており、その葉は古代からギリシャ様式建築の柱頭飾などに使

校章の由来

われている。校章のアカンサスの棘は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は、古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情懷を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものである。

徳島文理大学公開講座 「各界トップと考える世界—日本—徳島」のご案内

●事前予約不要
●入場無料
「ある大学」としての、どこの大学でもありそうなりとりだからだ。



以下は、ある大学の教師と新入学生との会話の一部である。「ある大学」としての、どこの大学でもありそうなりとりだからだ。



学長メッセージ

学長 桐野 豊

現在ほど教育が重要とされる時代はこれまでになかったと言っても過言ではありません。初等・中等教育においては、いじめや学力の低下等が大きな問題として広く認識され、国を挙げて対策がとられようとしています。また、高等教育機関である大学に対しても、その教育力に大きな重責が課せられるようになってきました。しかしながら、過去の詰め込み教育に戻せば済

むということではありません。現代社会においてどのような教育が重要であるのか、さらに深く考えてみる必要があると思います。第二次大戦後、日本の社会は、物質的な富の拡大を目標として、国民全体が懸命に努力し、大きな成功を収めました。しかし、そのような急激な発展の中においても、家族や地域共同体内の助け合いといった農村における人間関係は、農村から都市へ、一次産業から二次・三次産業への人口移動を伴いながらも、企業の終身雇用制の中で維持されてきたといえます。そのため、企業に所属している期間

よってこのような体制の維持が困難となり、終身雇用制の廃止や非正規社員の増加等雇用形態の変化が起つてきました。その結果、国民の間の貧富の格差増大が大きな社会問題となっています。中でも20代から30

頭の中心にある知識や能力(無形資産、知識資産)に高い価値が認められるようになってきました。こうした社会では、「企画力、開発力、ノウハウ」といった能力が組織の価値であり、力であるとされるため、そのよう

「企画力、開発力、ノウハウ」といった能力を育てる国として、最も成功している国として、フィンランドが挙げられます。フィンランドは、産業の競争力もまた、世界一と評価されている国です。格差の拡大、および、格差の固定化に対する最も有効な方策は、なるべく多くの国民が能力を伸ばすための適

「知の力」を涵養するべく、高品質の教育を提供していく所存です。このため、充実した施設・設備に加え、大学全体の教育力を一層高めるためのさまざまな改革を推進しております。本学の建学精神「自立協同」は、明治、大正、昭和の各時代において、本学の教育の根幹を形成してきましたが、今後ますます意義深いものになっていくと考えます。

「各界トップと考える世界—日本—徳島」と題する公開講座を平成19年4月20日(金)から開催する。この講座は、産学のリーダーの方8人を招いて行う、全6回にわたる連続講座となつていく。講師の先生方からは、専門の分野における最近の世界的な動向が紹介され、その中で日本の進むべき方向、さらには、徳島の果たすべき役割についても言及されることになっている。

丸山 力 様 (日本アイ・ビー・エム(株)顧問)
(3)5月25日(金)
橋・フクシマ・咲江 様 (コーン・フェリー・インターナショナル米国本社取締役・日本担当代表取締役社長)
(4)6月8日(金)
藤巻 健史 様 (株式会社フジマキジャパン代表取締役)
木村 廣道 様 (東京大学大学院薬学系研究科客員教授、ファストトラックイニシアティブ 代表取締役)
(5)6月22日(金)
小林いずみ 様 (メルリンチ日本証券株式会社 代表取締役社長)
富山 和彦 様 (株式会社産業再

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

http://www.bunri-u.ac.jp/human/media/awa/

は、経済的ばかりか精神的にもかなり安定した暮らしを享受できたわけだ。ところが、1980年代頃から、需要が頭打ちとなり、物質的な富の拡大が飽和状態になると、経済のグローバル化と競争の激化に

代の若者における貧困者層の増大は深刻です。この問題の本質は、知識基盤社会の到来という、社会の変化にあると考えます。成熟した資本主義(ポスト産業資本主義)の時代に入り、物

な能力の有無が人の社会的地位を決定付けます。これが人の間に格差を生み出すことにつながっているのではないのでしょうか。このような格差社会を生

求められるのは、まさにその「企画力、開発力、ノウハウ」といった能力を育てることです。

「各界トップと考える世界—日本—徳島」の夜に開講する。会場は、徳島キャンパスの「むらさきホール」。講演開始前には本学音楽学部・短期大学部音楽科による演奏会も予定している。

世界および日本の中で徳島のあり方を考える上で、たいへん有意義で、かつ楽しい連続講演会なので、学生・大学院生や教職員はもちろん、保護者の皆様やご近所の方々をお誘い合わせの上、ぜひ来場ください。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

http://www.bunri-u.ac.jp/human/media/awa/

「工学部臨床工学科」は、徳島大学工学部工学部臨床工学科に新入生を迎えるため、いよいよ授業がスタートする。本学科は、医用工学のエキスパート「臨床工学技士(国家資格)」を養成する学科であり、今、社会で最も必要と考えられている職業の一つである。

最近の医療現場(臨床)では、医師が治療、看護師がケア、臨床工学技士が生命維持装置等の操作や保守管理を担当している。チーム医療体制の重要性が増していることに応えるため、本学では「自立協同」の建学精神に基づき、積極的な行動がとれ、豊かな人間性と協調性を備えた臨床工学技士の養成をめざす。

臨床工学技士が行う生命維持装置等の操作は、生命に直結した専門業務であるため、医師の指示のもと、安全でかつ迅速・適確な判断と対処技術が要求される。したがって、授業では、医学や工学の知識および実技をバランスよく学習し、医療の現場に即した実践的な知識と技術を修得させる。

講義内容は高等教育問題、日本の経済のゆくえ、サービス産業の今後、医療問題、女性の働き方に関する問題、さらには、これからの日本の中核産業と位置づけられ、徳島の重要な産業でもある製菓産業の展望等々、産官学にわたる興味深いテーマとなっている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

http://www.bunri-u.ac.jp/human/media/awa/

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

http://www.bunri-u.ac.jp/human/media/awa/

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

「阿波踊りの「あ」」を制作した。2006年8月の徳島新聞でも紹介されたほか、阿波踊りの入門教材として他大学の授業や県外の阿波踊りグループでも利用されている。

http://www.bunri-u.ac.jp/human/media/awa/

メディアセンター棟について 各階機能紹介

徳島キャンパスに今春オープンしたメディアセンターは、さまざまな全学共通の機能を集約している。これらの機能連携を強化したことにより、教育と研究の高度化が進むものと期待されている。

メディアセンター各階概要

（1階）：アドミツションズ・オフィス、コンビニエンスストア、カフェラウンジ、JTB
学生募集に関する機能を集約したアドミツションズ・オフィスを設けた。また、コンビニエンスストア（ファミリーマート）、JTBおよびカフェラウンジ（カフェロテイ）はテナントによる運営とし、学内キャッシュレス機能の利用等、学生の利便性の向上に寄与する施設とした。

（2階）：学生サポートセンター
学生サポートセンターは、生活から勉学・就職に至る全ての学生サービス機能を、ワンストップで実現するものである。

（3階）：メディアラボ



施設概要

「構造」鉄骨鉄筋コンクリート造11階建て
「規模」9795・44㎡
「工期」平成17年10月19日～平成19年2月28日

全学共通のメディア教育の中心施設として運営するもの。さらに4階の情報センターおよびメディアセンターと密接に関係し、グループによる自学自習を助ける施設も設けている。

（4階）：情報センター
メディアセンター
学内の情報教育のセンター機能や、情報機器の運用・サポートの中心施設として機能する。

メディアセンターは、eラーニング教材作成等、さまざまな形で企画・制作・運用といったものを技術的にサポートする場として、後述の教育・研究支援センターと連携を取りながら運営する。

（5階）：語学センター
専門教育のベースに、語学の能力はますます欠かせなくなってきた。ここでは、基礎教育としてだけでなく、入学から卒業までの間に一定のレベルまでの能力を身につけるためのセンター機能を担うとともに、各学部と連携しながら、徳島文理大学としてのスタンダードの実現をめざす。

（6階）：教育・研究支援センター（全学共通教育センター）
専門教育を行う上で必要とされる基礎的な学力を、能力に応じて個別に教育指導するセンターとして機能する。

組織としては、基礎教育のみならず教育全般に対して支援を行い、前述の情報センターとメディアセンターとの連携のもと、eラーニング教材の開発および授業支援も併せて行う。

また、文理スタンダードを実現するために、学部・学科の枠を越えて、教育の方法や成績評価、その他の教育に関する全てを担う。

（7～10階）
各学科の教育・研究部門を配置した。

（11階）：レンタルオフィス・オーブンラボ
企業との連携および学内のベンチャー用スペース。大学との協力関係の中で研究開発を行う企業のプラントを設置したり、学内業務のアウトソーシングを行っている企業のオフィスを、学内ベンチャーのインキュベーション施設としても機能する。

多様なニーズに応じた英語学習の支援
語学センター

語学センターでは、全学生の語学力向上を図るため、入学から卒業までの期間を通して多様な学生のニーズを考慮し、一人ひとりの能力に応じたきめ細かな英語学習の支援を行う。フロア内には、英語しか使えないゾーンを設置。挨拶、会話はもちろん、書籍の貸出しも英語で行う。サロン風のリラックスタイプのオープン席や、ネイティブ教員や語学教員と会話をしながら語学力を高めることができる。

本学がめざすのは英語が話せるレベルではなく、英語で相手を説得する能力。その習得に威力を発揮するのが「CALL兼プレゼンテーション室」。4つのモニターが備わった馬蹄形の教室は、国際会議も開ける高機能を備え、本格的かつ実践的なディベート訓練を行うことができる。

さらに、「同時通訳室」を2ブース設け、英語能力に優れた学生の力アップを図る。夏休み期間には、第一線で活躍するプロ通訳者の講師を招き、8日間の集中トレーニングを実施する予定。

ITを活用した教育の企画支援を

メディアセンター

メディアセンターでは、学内IT化を促進させることを目的として、ITを活用した教育の企画支援を行うとともに、教職員に教職員のIT研修を積極的に行う。また、学生プレゼンテーションコンテストを実施している。発表の場を提供し、実社会で必要とされるスキルの修得をめざす。

さらに、IT運用に関しての情報セキュリティポリシーを確立し徹底する。具体的には、新たに導入したeラーニングの適切な運用や、学習用教材（コンテンツ）の開発を促進すると同時に蓄積を図る。また、マルチメディア関係の教育部門での積極的な活用を図ることができるよう密接な連携を取ることで支援を行う。

また、学生プレゼンテーションコンテストを実施している。発表の場を提供し、実社会で必要とされるスキルの修得をめざす。

情報通信 ネットワークを支える

情報センター

情報センターでは徳島・香川両キャンパスの情報に関するさまざまな業務を担っている。主たる業務は、ネットワークの管理・運営・セキュリティ対策や入試処理・成績処理等のシステム管理、統合DB、学生ポータルサイト、情報機器購入時のチェック、各種サーバーの管理、パソコン教室管理、各種ソフトウェアのライセンス管理、マイクソフトスタールアグリメンなど多岐にわたっている。学内IT化の一翼を担い、学生にとってよりよい情報環境を提供できるものと期待されている。

新薬学部棟の機能について

徳島キャンパスの新薬学部棟には、薬学教育の6年制に対応するとともに、教育・研究の高度化を実現するため、従来の21号館・旧11号館・13号館の機能を整理し、講義室・ロッカー室等の授業に関する部分と、情報・調剤等の学生実習部分、機器分析センター・RI実験センター・動物実験センター等の研究におけるメディアセンター機能を集中して設置した。

調剤実習部分は、新しい薬学教育の基準に沿った施設として整備した。機器分析センターは、従来分散配置されていたものを集約することにより、研究における利便性の向上とともに、将来の研究の高度化に対応できる施設とした。RI実験センターは、機能を集約するとともに、より確実なRI管理ができる施設とした。最新の設備の導入した動物実験センターでは、S/PFをはじめとした、より

高度な実験が可能になる。今回の計画により、21号館の研究機能が格段に充実し、さらに実験実習以外の全ての機能が同一棟で完結することになる。

講義等の常時滞在する部分を中心に配置することにより、学生にとっては、研究部分と実験実習部分へのアクセスが格段に向上するようになった。

また、同時に計画されたメディアセンターを、薬学部に関する全ての機能が周回廊下により繋がることになる。

（3階）：大講義室 2室
（4階）：ゼミ室 2室
（5階）：情報処理実習室
（6階）：調剤実習室
（7階）：機器分析センター
（8階）：機器分析センター
（9階）：研究室
（10階）：研究室・RI実験センター
（11階）：動物実験センター

施設概要

「構造」鉄骨鉄筋コンクリート造11階建て
「規模」7360・37㎡
「工期」平成17年10月19日～平成19年2月28日

電力需要とコスト削減に一助

NAS(ナス)電池設置



近年、大学施設の拡充や教育・研究の高度化に伴い、キャンパス全体の電力需要が伸びてきている。また、大学施設の特徴として昼夜や季節による変動が大きいことが上げられるが、これらを解消するため、さまざまな対策がとられてきた。

以前から、電力需要の平準化や非常時に対する備えから、自家発電設備によるコ・ジェネレーション設備が、この度、燃料費の高騰や二酸化炭素の削減等の要請にこたえるため、NAS電池を葉草園の一角に設けた。

NAS電池とは、ナトリウムと硫酸の化学反応により割安の夜間電力を蓄電し、昼間の電力需要のピーク時に放電することで電力需要の平準化や料金の削減を図ろうとするもの。単電池384個でおよそ1000KWの電力を蓄えることができる。

本学では今後も、非常時の対応と電力需要の平準化を計るとともに、環境に対する負荷を減らすキャンパスづくりに努めていく。

表彰に輝く!!

- 2006年台湾婦人科学会学術大会賞
瀬上 弘順 先生
井上 正久 先生
- 第42回徳島新聞賞科学賞
福山 愛保 先生
- 平成18年度有機合成化学協会中国四国支部奨励賞
今川 洋 先生
- 平成18年度日本薬学会中国四国支部奨励賞
中島 勝幸 先生
- 第50回香料・テルペンお
- よび精油化学に関する討論会ベストプレゼンテーション賞
齋藤 義紀 先生
- 日本トキシコロジー学会田邊賞
松井 敦聡 先生
- 第53回毒素シンポジウム奨励賞
小田 真隆 先生
- 第48回天然有機化合物討論会奨励賞
難波 康祐 先生
- 日本心理臨床学会名誉会員並びに学会功労賞
寒川伊佐男 先生
- （社）日本生化学会平成18年度JB論文賞
田中 幸 先生
- 四国EVラリー2006（電動二輪車ラリー）未舗装路走行部門優勝、ロングディスタンス部門準優勝
樋口 彰 先生
森本 滋郎 先生
- （助）日本リクリエーション協

倫理審査委員会が発足

平成18年11月に倫理審査委員会（委員長 中島副学長）が発足した。

本委員会は、徳島文理大学で行われる「人を対象とする研究」が、ヘルシンキ宣言、ならびに国から発表された関係倫理指針に基づき、人間の尊厳と人権が尊重され、社会の理解と協力

を得られる目的、内容であることを、学長の監督の下に審査するもの。審査委員は、自然科学系、人文・社会科学系の知識・経験豊かな教員を全学から、また複数の学外の有識者に委嘱し、構成している。

「人を対象とする研究」には、「ヒト由来試料を扱う研究」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」、「疫学研究」などの生物学的・医学的研究対象はもちろん、そのほか「人に関わる研究全て」（社会科学的研究対象等）が含まれている。

9学部26学科を有する総合大学であり、文理が融合し、人に役立つ特色ある研究を日々行っている本学にとって、倫理面からの適正な評価が実施されることは、誇れるものといえる。

ロールシャッハ学会開催



2日間とも雨模様の寒い日で、天候には恵まられなかったが、参加者の熱心な発表と討議で、記念大会にふさわしい盛況であった。今回の大会を支えたのは、本学大学院人間生活学研究所心理学専攻臨床心理学コースと人間生活学部心理学科の学生からなる50人余りの運営スタッフ。大会案内の作成から始まり、会場の設営、運営など、計画の段階から実行まで大学院生が中心となっており、学会の主催者としての責任感と実行力を示した。大会後、多くの会員の方から「学生さんの対応がきびきびしていて気持ち良かった」「スムーズに運営されていた」と褒めめ言葉をいただいた。また、初日の夜に開かれた懇親会では、徳島文理大学連の阿波踊りが披露され、その若さと熱気にあちこちで感嘆の声が上がった。最後は連長の阿波踊り指導を受け、全員が総踊りの輪を作り、「こんなに盛り上がった懇親会は初めて」といわれる会となった。

平成18年11月18日(土)、19日(日)の2日間、徳島キャンパスの9号館、21号館(国際会議場)において、第10回日本ロールシャッハ学会大会を開催した。この学会は、心理臨床の現場で広く用いられているロールシャッハテストという心理検査についての学会で、設立は比較的新しい。しかし、検査法の歴史は長く、多くの研究者や心理臨床家が研究と実践に取り組んでいる。今回は第10回の記念大会であるとともに、中・四国地区で開催される初めての大会であった。

学会初日は、ワークショップ4コースの後、ロールシャッハテストの最近の動向についてシンポジウムが開かれた。午前10時から午後4時までという長時間のワークショップであったが、180人余りの参加者は熱心に受講していた。2日目も研究発表、特別講演、シンポジウムと盛りだくさんのプログラムで、260人余りの参加者があった。

府県別保護者会開催について

府県別保護者会は、大学と家庭を結ぶ場として、毎年8月に開催している。平成18年度は、8月6日(日)の徳島支部を皮切りに高

高校・中学の理科教員研修支援

平成18年11月25日(土)に、香川県内の高校・中学の理科教員12人を香川薬学部にて迎え、香川薬学部で得られた最先端の生物学の研究成果を高校・中学の指導現場で活用するための研修会が開催された。講師は香川薬学部機能生物学講座の教員(伊藤悦朗教授)で、(独)科学技術振興機構のサイエンスパートナーシッププロジェクト事業として香川県教育センターの主催で行われた。受講生の教員らは、午前中は脳・神経の授業を受け自己研鑽に励み、午後には身近な動物であるナメタジを用いて学習・記憶の実験を体験した。受講生からは「ぜひ授業に取り入れていきたい」と好評を得た。



知・愛媛・大阪・広島・兵庫・和歌山・岡山・沖縄(那覇・名護・沖縄)・鹿児島・福岡・愛知・香川の13府県15会場で開催した。大学から延べ427人の教職員が参加し、15会場で1823人の保護者の来場があり、どの会場も盛況かつ和やかな雰囲気のもと行われた。全体会では、支部長挨拶に始まり大学挨拶・現況報告・質疑応答・支部役員改選等が行われた。その後の保護者とクラス担任との個別面談では、学業成績や大学での生活、就職に関することなど熱心に相談する姿や大学に対して要望する姿が見られた。

平成19年度も、日程が決まり次第(6月末頃)事務局から各家庭に案内状が送られる。ぜひ参加していただきたい。

高校生の「授業体験」

香川キャンパスでは平成18年9月7日(木)、香川県立三本松高校スーパーサイエンスハイスクール研究開発(アカデミーキャンパス)を招いて、香川薬学部伊藤悦朗教授の指導のもと「大学での生物学の授業を体験する」など3つの講座を行った。どの講座も好評で、「どの講座も大変分りやすく、勉強になりました。普段の高校の授業では学べないところまで、深く知ることができ、よかったです。もっと講義を聞きたかった」という思いこみがあつた。また、「有性生殖はいいもの」という思いこみがあつた。この講義を聞き、考えが変わりました。遺伝子組み換えについては、以前からいろいろ疑問に思っていたことがありましたが、体内で起こっていることを知り、驚きました。いろいろなことが解明されているようですが、良いように、私たちの生活に影響されたいと思いません。などの感想が寄せられた。

10月19日(日)、徳島県立城東高校2年生15人が「授業体験」のため徳島キャンパスに来学した。簡単なオリエンテーションの後、希望の授業を体験した。現役大学生と机を並べての授業に少々緊張気味のようであったが、授業を終え、パウゼでの昼食時には、教科担当の教員と和やかな雰囲気の中で談話する姿も見られた。その後、むらさきホールで、パイプオルガンの音色に耳

優秀な保育士をめざせ!! 中・四国保育学生研究大会開催

平成18年12月9日(土)、中・四国保育学生研究大会が徳島キャンパスで開催された。保育士養成校37校から学生・教職員など約1500人が参加し、計43題の研究発表が行われた。この大会は「保育学生の研究発表および相互交流を通して、将来の保育者としての資質の向上を図ること」を目的として毎年行われ、今回が47回目。

本学では「体験」した高校生が少くとも将来に希望を抱き、夢を見つけられればと願う。

出張講義

出張講義は、高校生に向けて、大学の持つ「知の資源」の開放として実施している。平成18年度は前年度よりさらに申込が増え、徳島・香川・愛媛・高知・兵庫の5県、38校において83講義を実施した。



桐野学長による出張講義 (香川県英明高校)

講義は学長をはじめ、各学部の教授陣が、それぞれの学部の特徴をいかした個性ある内容を展開している。平成19年度からは、小・中学生にも対応できる講義を一部加えて実施する予定で、大学が地域社会に貢献する事業の一環として、大いに注目されている。

短期大学部保育科の試みとして、短期大学部保育科では、現役保育士や幼稚園教諭による保育シンポジウムを行っている。第2回目となった今回は、平成18年7月8日(土)、「表現の楽しさを伝える保育」をテーマとして開催した。

期末試験直前の土曜日に参加した学生らは、はじめはあまり気乗りしない様子であったが、ギターを抱えた若い女性保育士の2人組の講師が登場し歌いだすと、会場の空気が一変した。卒業生でもある講師は、子どもたちと楽しんできた歌や手遊びなどを次々に披露し、1時間あまりの公演があつたという間に終わった。第2部は、やはり卒業生

科の学生を中心に、温かい対応を心がけたかきもあつて、参加された先生方から、「学生さんがとても親切で助かった」「学生さんの機敏な動きがすばらしかった」などのお褒めの声をいただいた。

この大会開催は、研究発表の成果はもちろん、大会運営を通して、学生ばかりでなく教職員にとっても企画・運営・協力といった大切なことを学ぶ良い機会となった。

短期大学部保育科では毎年6月に、「徳島文理大学保育講座」として、県内の保育関係者と本学学生を対象に講演会を行っている。この講座は、日頃学生が実習や就職でお世話になっている保育所や幼稚園の方々に、また保育者として活躍している多くの卒業生の支援を目的として始めたもの。講師には、保育界の第一線で活躍する研究者や著名な音楽家を招いて実施している。

第9回目となった今年度は、平成19年6月16日(土)、講師として遊び作家の湯浅とんぼ先生を招いて開催する。湯浅先生は「いっぽんばしにほんばし」「ふうせん」「チョットグッパ」

など、保育者なら誰でも知っている遊び歌の作者で、男性保育者の草分け的な存在として知られている。また、最近「あやとり」の指導者としてもひっぱりだこで、「おはなしあやとり」という新しいジャンルを広められている。

あわ山城政経塾は政治、経済、教育をはじめ、あらゆる社会活動はいかにあるべきかを総合的に自得し、強い信念と実行力を持ち、幅広い視野を体得することを目的として平成18年6月に設立された。

顧問には、総合政策学部の飯野忠男教授が就任し、適宜指導をしているが、運営は塾員以下学生が自主的に進めている。政経塾は政治的には不偏不党を貫き、宗教活動には一切関わらないことをモットーにしている。

これまでに本学の専門職大学院教授武村正義氏をはじめ、後藤田正純代議士、仙石由人代議士、飯泉嘉門徳島県知事らを講師として招き、講演をしていただいた。塾生のうち何人かは、さらに大学院で研究し、将来は政治家をめざしたいという大志を抱いている学生もいる。

あわ山城政経塾 総合政策学部

短期大学部保育科では毎年6月に、「徳島文理大学保育講座」として、県内の保育関係者と本学学生を対象に講演会を行っている。この講座は、日頃学生が実習や就職でお世話になっている保育所や幼稚園の方々に、また保育者として活躍している多くの卒業生の支援を目的として始めたもの。講師には、保育界の第一線で活躍する研究者や著名な音楽家を招いて実施している。

第9回目となった今年度は、平成19年6月16日(土)、講師として遊び作家の湯浅とんぼ先生を招いて開催する。湯浅先生は「いっぽんばしにほんばし」「ふうせん」「チョットグッパ」

など、保育者なら誰でも知っている遊び歌の作者で、男性保育者の草分け的な存在として知られている。また、最近「あやとり」の指導者としてもひっぱりだこで、「おはなしあやとり」という新しいジャンルを広められている。

講座は、保育の話や楽しい遊び歌、あやとりなど盛りだくさんの内容となっている。保育にかかわりのある人には、一人でも多く参加していただきたい。

定期演奏会並びに

その他の催物予定

第49回徳島文理大学定期演奏会を、平成18年12月2日(土)に香川キャンパスの村崎サイメモリアルホールで、平成18年12月3日(日)に徳島キャンパスのむらさきホールで開催した。

今回の定期演奏会は、モーツァルト生誕250年を迎えた年ということもあって、モーツァルトの代表作「レクイエム」を取り上げた。まず、序曲、スッペ作曲「軽騎兵」から、モーツァルトの「レクイエム」、そして、休憩後のベートーヴェン交響曲「第七番」へと、時は異にすれども、同じウィーンで活躍した音楽家の作品でまとめられたプログラムであった。

指揮は、ここ数年来徳島

文理学部音楽学系を指導し一聴衆を魅了した。てこられた横山俊充氏。横山氏の真摯な指揮ぶりは、作曲家に対する深い敬意の為す所と推察される。

その思いは文理学部音楽学系、大学管弦楽団と合唱団によって、ホールいっぱいに響きわたり



徳島文理大学ウィンドオーケストラ定期演奏会

音楽会主要行事

(むらさきホール等)

〔平成19年〕

○6月23日(土)

大阪市音楽団演奏会 (徳島県主催)

○7月22日(日)~27日(金)

第8回ウィーン国立音楽大教授陣によるインターナショナル夏期講習会および演奏会

○10月21日(日)

徳島文理大学ウィンドオーケストラ定期演奏会

○10月27日(土)

国民文化祭・吹奏楽の祭典 (徳島県主催)

○10月28日(日)

国民文化祭・合唱の祭典 (徳島県主催)

○11月4日(日)

国民文化祭・オーケストラの祭典 (徳島県主催)

○11月24日(土)

香川キャンパス 第50回定期演奏会・指揮小泉和裕

○11月25日(日)

徳島キャンパス 第50回定期演奏会・指揮小泉和裕

〔平成20年〕

○2月12日(火)~16日(土)予定

第8回ウィーン国立音楽大教授陣によるインターナショナル冬期講習会および演奏会

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

吹奏楽や木管合奏・金管合奏・電子楽器・合唱、リコーダーアンサンブル等、

所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

第16回 レ・スプレンドル音楽コンクール 室内楽部門 審査員特別賞を受賞して

音楽専攻科卒 (音楽事務室勤務) 笹川 幸美

私たちが文理学部フルート科に所属するフルートは、結成して1年半がたちます。演奏会などに出演することがほとんどでしたが、何かに挑戦したいと思い、コンクールに出場するようになりまし。レ・スプレンドル音楽コンクールの一予選はテープ審査で、二



メンバー 井上智映子 (音楽学部音楽学科4年生) 鈴江早都子 (音楽学部音楽学科4年生) 本田 友美 (音楽学部音楽学科4年生) 笹川 幸美 (音楽専攻科卒 音楽事務室勤務)

次予選・本選は東京で行われました。審査員特別賞を受賞したときは、とても驚いたのと嬉しさでいっぱいでした。これも、ご指導くださった先生や、応援してくださった皆様のおかげだと感謝しています。今年2月3日(土)に東京オペラシティ・リサイタルホールにて行われた入賞者演奏会では、メンバー全員、とても納得のいく演奏ができました。これからも、次の課題に向けて、がんばりたいと思います。

〔演奏曲目〕 A ライヒ作曲・シンフォニオニコ

四国巡礼キャラバン

コンサートについて



四国霊場八十八カ所の札所や近郊の学校を回り、お遍路さんや地域住民を音楽でお接待する四国巡礼キャラバンコンサートを実施している。本事業は、平成18年7月8日(土)の鳴門市大麻町「道の駅」で飯泉徳島県知事並びに亀井鳴門市長、桐野学長と藤木副学長ご臨席の上、オープニングコンサートとして第1回目を盛大に開催した。以後今年3月末までの実施回数は22回を数える。

児童学科 コンサート

平成18年12月20日(水)、人間生活学部児童学科ミニコンサートを開催した。

このコンサートは、児童学科が縦割り教育として実施している「児童研究」を中心に、音楽の集大成として

の「オペレッタ」や音楽卒業研究などの発表の場として催されている。第16回を迎える今回のプログラムは、音楽受講生全員によるオペレッタ「シンデレラ」、児童研究「アンサンブル」、卒業研究「重唱・ピアノ演奏」などがステージを彩り、学生の熱意、演目から訴える人を思う心と全員でつくる音楽のすばらしさが、多くの人に感動を与えるコンサートとなった。



での発表であったが、将来教育現場に携わる者として、机上では学べない友人との和、充足感を共有できたことは、大きな財産となることであろう。

エマニユエル・パユ フルトリサイタル

エマニユエル・パユ氏の徳島文理大学来学は、むらさきホールの柿落とし公演で、NHK交響楽団のソリストとして訪れて以来、4度目となる。2回目以降は

プログラム作成について等がまた戻ってくる日を案も古典派から、ロマン派、近・現代、さらには邦人作品まで、幅広いレパートリーを用意しているところにもその思いが伺われる。

さらに、終演後、遅くまでサインを求め、一人ひとりに笑顔を絶やさず対応している姿にも敬服させられた。



◆香川キャンパスイルミネーション点灯式

香川キャンパスでは、12月13日(水)17時半から、イルミネーションの点灯式が管理棟前広場で盛大に行なわれた。

冬のキャンパスを彩るイルミネーションイベントの点灯式が徳島キャンパスでは、平成18年12月11日(月)に、香川キャンパスでは、12月13日(水)に開催された。このイベントは徳島キャンパス約3万6400個、香川キャンパス約6万5000個の青色と白色のLEDを使い、今年2月15日(木)までのおよそ3か月間行われ、夜のキャンパスを荘厳な光で包み込んだ。

鳥島文理大学ハンドベルサークル「ハンドベルクワイア」による演奏もあり、澄んだ音色と、輝くLEDの光が相まって、夜のキャンパスに幻想的な雰囲気醸し出した。



在学生代表

入学生への呼びかけ

食物栄養学科3年 高橋 知里



私は学校給食か医療の仕事に携わりたいと思い、管理栄養士をめざして頑張っています。管理栄養士という職業に出会ったきっかけは、高校生の時に体調を崩して貧血気味となり、医者に食事療法を勧められたことでした。それがきっかけで、栄養学に興味をもつようになり、管理栄養士になることを決意しました。

徳島文理大学を選んだ理由は、管理栄養士国家試験の合格率が全国でも上位であったこと、大学内の施設・設備が充実していたことなどがあります。一番の理由は、高校生の時に参加したオープンキャンパスです。

実行委員会は、大学内の合格者が全国でも上位であったこと、大学内の施設・設備が充実していたことなどがあります。一番の理由は、高校生の時に参加したオープンキャンパスです。

動の中で、他学科の仲間や先輩、そして大学職員の方と話すことが、自分自身を高めることに非常に役立っています。これからも、いろいろなことに臆することなく挑戦していきたいと思っています。

私はオープンキャンパスで緊張している私を先輩方が、すごく温かく迎えてくれました。おかげで緊張もほぐれ、いろいろな話を聞かせてもらって、先輩たちが大学生活を有意義に過ごしていることがわかりました。

私はオープンキャンパスで緊張している私を先輩方が、すごく温かく迎えてくれました。おかげで緊張もほぐれ、いろいろな話を聞かせてもらって、先輩たちが大学生活を有意義に過ごしていることがわかりました。

私はオープンキャンパスで緊張している私を先輩方が、すごく温かく迎えてくれました。おかげで緊張もほぐれ、いろいろな話を聞かせてもらって、先輩たちが大学生活を有意義に過ごしていることがわかりました。

私はオープンキャンパスで緊張している私を先輩方が、すごく温かく迎えてくれました。おかげで緊張もほぐれ、いろいろな話を聞かせてもらって、先輩たちが大学生活を有意義に過ごしていることがわかりました。

私はオープンキャンパスで緊張している私を先輩方が、すごく温かく迎えてくれました。おかげで緊張もほぐれ、いろいろな話を聞かせてもらって、先輩たちが大学生活を有意義に過ごしていることがわかりました。

海外研修に参加しよう!



夏期カナダ英語研修が行われるバンクーバー

徳島文理大学では、語学研修・異文化体験を目的として次のような海外研修を実施している。

言葉も生活習慣も違う海外での体験は、新たな自分探しのよい機会となるだろう。長期休暇を利用して参加できる海外研修にぜひ挑戦してほしい。

夏期カナダ英語研修

平成19年7月21日(土)〜8月13日(月) (24日間)

カナダ・バンクーバーにある本学姉妹校のランガラ大学で行われる英語研修は、ホストファミリーの家庭に滞在する。午前中はランガラ大学で英語の授業を受け、午後はグループに分かれてさまざまな課外活動を行う。

ホストファミリーとの時間は、英語の勉強だけでなく異文化を理解するための絶好の機会となる。

さまざまな国が隣り合うヨーロッパ各国の文化の違いを体験できることがこの研修の特徴である。

さらに、大学を休学しないで1年間留学する「交換留学制度」もあり、現在、韓国の檀国大学との間で1年間の留学生の交換が行われている。広い世界を見てみたい、語学力をつけたいと思っている学生はぜひ利用してほしい。

国際交流グループでは海外研修・海外ボランティア・ワーキングホリデー・留学等に関する相談を受け付けているので、気軽に足を運んでください。

2006夏期カナダ英語研修 フォトギャラリー <http://pinetree.web.fc2.com/>

研修の特徴である。各研修の実施日など詳細の問い合わせは徳島キャンパス、香川キャンパスともそれぞれの国際交流グループまで。

さらに、大学を休学しないで1年間留学する「交換留学制度」もあり、現在、韓国の檀国大学との間で1年間の留学生の交換が行われている。広い世界を見てみたい、語学力をつけたいと思っている学生はぜひ利用してほしい。

国際交流グループでは海外研修・海外ボランティア・ワーキングホリデー・留学等に関する相談を受け付けているので、気軽に足を運んでください。

夏期カナダ英語研修が行われるバンクーバー

さらに、大学を休学しないで1年間留学する「交換留学制度」もあり、現在、韓国の檀国大学との間で1年間の留学生の交換が行われている。広い世界を見てみたい、語学力をつけたいと思っている学生はぜひ利用してほしい。

国際交流グループでは海外研修・海外ボランティア・ワーキングホリデー・留学等に関する相談を受け付けているので、気軽に足を運んでください。

2006夏期カナダ英語研修 フォトギャラリー <http://pinetree.web.fc2.com/>

研修の特徴である。各研修の実施日など詳細の問い合わせは徳島キャンパス、香川キャンパスともそれぞれの国際交流グループまで。

さらに、大学を休学しないで1年間留学する「交換留学制度」もあり、現在、韓国の檀国大学との間で1年間の留学生の交換が行われている。広い世界を見てみたい、語学力をつけたいと思っている学生はぜひ利用してほしい。

国際交流グループでは海外研修・海外ボランティア・ワーキングホリデー・留学等に関する相談を受け付けているので、気軽に足を運んでください。

研修の特徴である。各研修の実施日など詳細の問い合わせは徳島キャンパス、香川キャンパスともそれぞれの国際交流グループまで。

平成18年度 夏期韓国語研修報告



平成18年7月3日(月)から28日(金)までの日程で、檀国大学(韓国)において韓国語研修が行われ、4人の学生が参加した。研修は、午前は初歩的な韓国語、午後からは韓国文化体験学習というプログラムで行われた。

韓国語の授業では、ハンダや数字の読み方から買い物などでの日常会話の学習、文化体験ではハンダ習字や水墨画などを体験した。授業は初級、中級に分かれ、ボランティアの学生2人が常に通訳し、サポートしてくれていた。

日本、中国、モンゴル、ロシアなどからの参加者とともに学び、さまざまな体験をすることができた。経験豊富な学生が参加した。

英語スピーチコンテスト 参加者募集

第13回を迎える英語スピーチコンテストを、平成19年6月7日(木)、徳島キャンパス・アカンサスホールで開催する。今年度のメインテーマは、「地域社会の中の私」。発表時間は一人5分程度。審査は本学の英語教員5人により内容・構成・発表力などさまざまな角度から厳正に行われる。

最優秀賞の受賞者は、今夏実施されるカナダ英語研修(24日間)に招待され、姉妹校ランガラ大学での語学研修とカナダ家庭でのホームステイの機会が与えられる。

日頃の成果を発揮する良いチャンス、参加してみませんか。

申込み期間 4月3日(火)〜27日(金) 問合せ・申込み先 語学センター

平成19年2月8日(木)、徳島キャンパスにて第3回学生プレゼンテーションコンテスト「わが徳島文理大学キャンパスライフ」が開催された。

このコンテストは、今やビジネスにおいて必須のスキルとなったパワーポイントを使い、プレゼンテーションすることにより、学生のコンピュタ技術を高め、自分の考えをまとめ、発言する能力の向上を目的として企画された。

人間生活学部食物栄養学科1組、同生活情報学科7組、総合政策学部総合政策学科2組、文学部コミュニケーション学科3組、工学部機械電子工学科1組、工学部研究科システム制御工学専攻1組の計16組49人が参加した。

審査は、「主題と構成」「プレゼンス」「メディア」「オリジナリティ」の4項目により行われ、次の学生が表彰された。(掲載の学年は受賞時のもの)

最優秀賞 チーム名・N22 新居 千明(人間生活学部生活情報学科4年)

優秀賞 チーム名・文理キャンパスライフルランナー 阿部健太郎(人間生活学部生活情報学科3年)

打樋 秀明(人間生活学部生活情報学科3年)

矢野 博文(人間生活学部生活情報学科3年)

平岡 晃子(人間生活学部生活情報学科3年)

米澤 寛子(人間生活学部生活情報学科3年)

チーム名・Shino Lab 荻田 紀子(人間生活学部生活情報学科3年)

植松 千尋(人間生活学部生活情報学科3年)

中内 なるな(人間生活学部生活情報学科3年)

部生活情報学科3年 黒島 正登(人間生活学部生活情報学科3年)

西崎 利彦(人間生活学部生活情報学科3年)

部生活情報学科3年 テーマ・山城祭出店計画

チーム名・KAGAWA オープンキャンパス実行委員会

竹村 友子(文学部コミュニケーション学科3年)

川内茉莉亜(文学部日本文学科3年)

岩田 人美(文学部コミュニケーション学科3年)

チーム名・06年 香川校オープンキャンパス

チーム名・徳島文理大学 香川キャンパス 大学院

砂川 章紀(工学研究科システム制御工学専攻2年)

田口 周作(工学研究科システム制御工学専攻2年)

児島 孝則(工学研究科システム制御工学専攻2年)

チーム名・裏方の大変さ・重要性・喜び

香川 留学生からのメッセージ



時は、今から5年前にさかのぼります。16歳、高校に入った私は夢多き高校時代を送りました。美術系のアーティストをめざしてみたり、子どものときからずっとやってきた音楽のボーカルにも夢がありました。しかし高校1年のある日、日本人の親戚がいる友だちが話してくれた日本のいろいろな話を聞いて、私は何かにつけ張られるような強い印象を受け、それがきっかけで初めて日本語に入門する

日本への留学は、そんな私には本当に夢のようでした。ところが今、大学の交換留学生として徳島文理大学に来て、もうそろそろ1年を迎えます。

日本語を習い始めてから毎日のように日本人とチャットやメールをしていて自然に日本のいろいろな文化を知ることができ、日本のことについてはもう何でも普通に受け入れていく感じに驚くこともほとんどありませんでした。しかし実際の大学の生活を通じて他の留学では習うことのできない、あるいは感じることもたくさんあります。

夢を持ち始め、その夢が実現するまで2年ぐらいいろんな経験を経験しました。その2年の時間は、本当に自分が好きなことをやっているという喜びに溢れて充実していたと思います。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

この1年の交換留学生の経験は足掛かりとして、今に安住しないでもっと大きな夢を持ちつづけていきたいと思っています。

平成18年度就職支援と就職状況

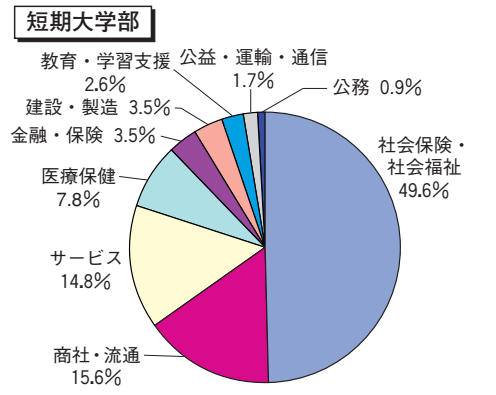
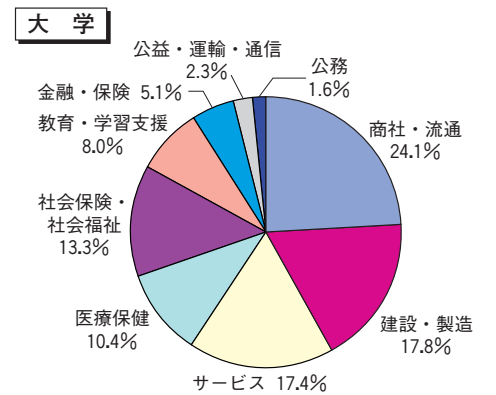
自信を持って積極的に活動しよう

平成18年度の業種別就職状況は、平成19年3月1日現在で左の円グラフに示すとおりである。

前年に引き続き景気が回復基調で推移する中で、いわゆる「2007年問題」といわれる団塊世代の大量退職も背景に企業の求人意欲が高まった。このような状況下で本学への求人数も昨年比14%増となり、インターネットでの求人に加え、就職環境は数字的には数年前に比べ格段に改善されてきた。

その結果、早くから意欲的に取り組む学生にとっては、本学においても早期に内定獲得に至るケースが多くなっているが、求められているのはやはり求人を担う戦力とならうる有能な人材であり、依然として企業の厳選採用姿勢は続いている。雇用回復の実態を見ると業種や地域による偏りがあり、条件的にも雇用形態面でも厳しい部分があり、全ての学生にとって必ずしも売り手市場ではない。しかし、氷河期といわれた頃と比べると、明るく元気でやる気があり、目的意識を持って学生生活を送り、早くから就職や働くことを意識できている学生にとってはチャンスが増えていることは間違いない。

平成18年度 業種別就職状況 平成19年3月1日現在



[注] サービス…農協・人材派遣業・リース・警備・ホテル

また、後述の各種就職支援の他に、新たに教員養成対策室設置により教員養成に向け強力に支援しており、年2回の教員採用試験対策集中講座も実施している。さらに、チャレンジ講座



座長委員により「公務員対策のチャレンジ講座」を新構築し、公務員試験合格に向けた支援体制を整備し、チューター制のもと全学あげて学生の夢の実現を強力にサポートしている。

こうした場合、組織改革を行い、「就職部」は「キャリア・サポートグループ」として、徳島・香川キャンパスともに新・増築された学生サポートセンターに移った。より落ち着いた環境の中で就職相談ができるよう配慮したブース形式の相談カウンターや、個別相談室など、充実のサポート環境のもと一層の学生支援を行う体制を強化した。1月から「キャリア・サポートグループ」として業務を開始し、連日多くの学生が訪れている。

学生には、こうした環境を積極的に利用することに

より十分な準備を行い、早めの積極的な就職活動を展開することで全員が目標とする企業等の内定を獲得できると確信している。

最後に、平成18年度に徳島・香川両キャンパスで実施した各種就職支援の主なものについて、その概要を紹介する。

①就職活動支援懇話会 in 徳島文理大学

12月に徳島労働局や徳島県、徳島県若年者就業サポートセンター等の支援のもと、県内の代表的企業の人事担当者4名を招き、採用側の視点から実践的な就職対策について学生からの質問を受ける形で実施した。

②就職試験対策集中講座

第1回目を8月に、第2回目を2月に実施した。内容は8日間計21コマで自己分析から面接まで、就職に関する講義と実技指導、まとめとして模擬試験の実施と個別添削を行った。

③就職セミナー「女子学生のための基本マナー」

1月に香川県内の銀行から専門家を招いて、女子学生に対し社会人としての心



井上 斉子
薬学部 医療薬学科
公衆衛生学講座所属
中外製薬

薬学部へ入学した時から「薬剤師」病院、薬局」という等式が頭の中であり、当然自分もそうなるであろうと考えていました。そんな私が友人の誘いで製薬会社の説明会に軽い気持ちで参加し、終わってみると私の頭の中はMRになることしかありませんでした。就職活動を終えて今思うことは、何事においても「偏った知識や情報で物事を判断しない」ということです。

自分の大切な将来のため、さまざまな職業を調べ、足を運んでください。実際にその場の空気を感じることも大切ですね。きっかけは何でもよいです。それに至るまでの行動力を持ってください。自分の将来像を描き、その将来像に近づけるように「薬剤師」という活動に打ち込んでみてください。

卒業直後に2級建築士・3年現役で宅建取得

平成18年4月に住居学科を卒業した社会人2人が、同年12月、2級建築士に合格し、専攻科目を2年間で学び、設計事務所に入社し、仕事をしながら試験に合格した。一人は4年生の藤尾宏一郎さん

文理高校出身の平井和貴子さん。もう一人は本学を平成15年に卒業し、1年後の平成16年に住居学科3学年に編入学した花本純さん。設計事務所に入社し、仕事をしながら試験に合格した。一人は4年生の藤尾宏一郎さん

先輩からの手紙

そして、どんなときも笑顔と感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

自分自身を振り返ることが大切

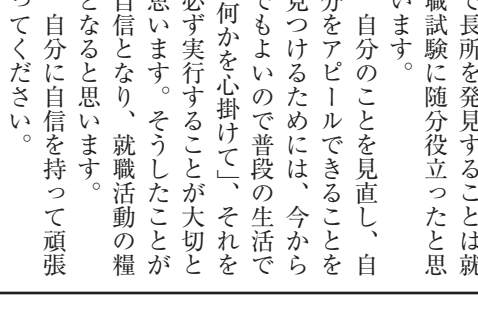
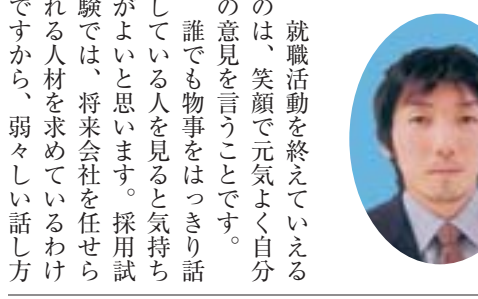
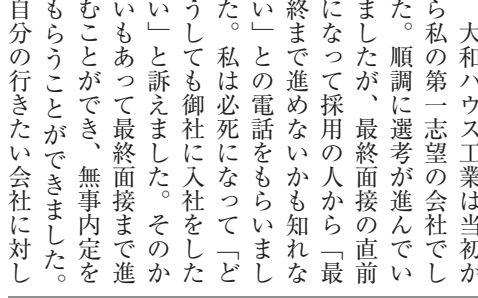
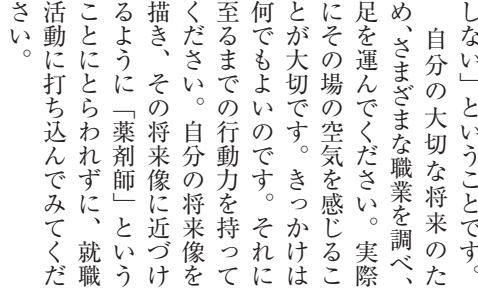
狭子 香織
短期大学部 商科
旭食品株式会社

私は徳島県内で事務関係

住宅フェアでCAD図面・建築模型を作成

加し、家を建築したい人の相談に乗り、その場でパソコンを使ってCAD設計図を作成し進呈した。また、設計図を持って相談にきた人には、目の前でその家の模型を作りプレゼントし、非常に喜ばれた。

参加した学生は、実際に家を建てたい人の質問や悩みを直接聞くことにより、自分たちがどんな知識を持たなければならぬのかを学ぶことができ、充実した実習となった。



平成18年度 クラブ&サークル 結果

- ◎弓道部
 - ・国体出場
 - ・徳島県成年女子
 - 増田 博子(人間生活学部児童学科2年)
 - ・大分県成年女子
 - 安部 美香(人間生活学部児童学科3年)
 - ・第54回全日本学生弓道選手権大会 女子個人準優勝 船越 由希(人間生活学部児童学科1年)
- ◎バスケットボール女子部
 - ・全日本学生選手権大会四国ブロック予選 第3位
 - ◎バレーボール女子部
 - ・四国バレー秋季リーグ 第3位
 - ◎水上スキー部
 - ・全日本学生水上スキー新人戦 個人
 - スラローム 3位
 - 藤村 昌弘(総合政策学部総合政策学科2年)
 - スラローム 2位
 - 丹下香葉子(人間生活学部食物栄養学科2年)
 - 桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会(個人)
 - トリック 3位
 - 小浜 佳世(人間生活学部食物栄養学科4年)
 - ・(団体) 女子第4位
 - ◎ソフトテニス部
 - ・秋季四国学生選手権 女子シングルス優勝
 - 宮城 明生(人間生活学部人間生活学科1年)
 - ◎少林寺拳法部
 - ・四国地区大学総合体育大会優勝

学生の活躍 ボランティア活動

「防犯功労賞」を受賞して人間生活学部児童学科4年 十河 真也

平成18年防犯功労賞(徳島東警察署)として、私たち徳島キャンパス学生ボランティア部が全国防犯協会連合会より全国表彰されました。

昨年度の代表として、東京で賞をいただき、さらに後日県知事より改めて伝達

「レインボーの会」工学部ナノ物質工学科4年 筒井 絵里

レインボーの会は、さぬき市を中心に、知的障害者や肢体不自由な人たちを対象としたボランティア活動に参加しています。

おもに白鳥園主催ボランティアのサポーターをして

大学祭

平成18年10月20日(金)〜10月22日(日)

徳島キャンパスの大きなイベントの一つである第42回山城祭は、各サークルの皆さんや近隣の皆さんのご協力のおかげで無事に終えることができました。

3日間を通して大きなアクシデントもなく、また天候にも恵まれ、多くの人々に来てもらうことができ、大変うれしく思いました。

昨年は特に野外、体育館ライブに力を入れました。開催期間中は、大変な盛り上がりを見せ、大勢の方々楽しんでいただけました。ただ私たちスタッフが残念に思うのは、見に来てくださった多くの人々に上手に対応することができなかったことや、人が通る道などが狭くなりすぎたなど迷惑をかけた点です。そのことは次回の反省点にしたいと思っています。

最後になりましたが、これからも山城祭の発展・成長を期して努力してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

(実行委員長 北森理世)

山城祭

昨年度は初めての試みとして、山城祭をより充実させるため、学生、教職員の皆さんから協力をいただきました。その方法などは、手探りでしたが、皆様の協力によって大きな成果がありました。協力は、練越金として扱い、今年度に生かしたいと考えています。

イベント関係の目新しいところは、パワー溢れる「よさこい」踊りが、観客の心を引き付け、大いに盛り上がりを見せました。志度球場で行われた第1回「杏樹杯」ソフトボール大会も3学部から多くのチームが参加していたことができました。また、新しいサポーターセンター2階では、「さぬき市文化協会」の作品が展示され、地域の方々の作品に掛ける意欲を実感しました。

不慣れな私たちでしたが、やればできるという自信を得ることができました。

今年も昨年の反省点等を生かし、香川キャンパスの活性化をめざしたいと思います。

これからKeep it Up! (実行委員長 竹村貴秀)

杏樹祭

Keep it Up! (頑張ろう)のテーマで行われた香川キャンパス第21回杏樹祭は、学生、教職員、地域住民のご支援ご協力のもと無事終えることができました。

昨年度は学生・地域がこれまでにならぬほど一体となって、感動的な杏樹祭にな

オープンキャンパス



平成19年度オープンキャンパスの開催日が決定しました。毎年、高校生や保護者など延べ2000人を超える参加者が本学を訪れ、充実した1日を送っている。

当日は、模擬授業、大学概況、入試・就職状況や相談コーナーなどさまざまな企画が催されるほか、在学生により発足された「オープンキャンパス実行委員会」による展示物やキャンパスツアー、県人会・クラブ・サークル紹介など、在学生の立場から大学の魅力を紹介する。

また当日は、参加者の交通便を配慮し、無料送迎バスを運行する予定です。

本年度の開催日は次の通り。

- 6月30日(土) 香川キャンパス
- 7月1日(日) 徳島キャンパス
- 8月9日(木) 徳島・香川キャンパス
- 8月26日(日) 徳島・香川キャンパス
- 10月13日(土) 徳島・香川キャンパス

放送部(徳島)

毎週木曜夜10時といえど、泣く子も黙る...いえいえ、泣いてるこの子も、怒ってるあの人も、みんなみんな笑っちゃう「七色アンテナのエネサラダ」!! エフエムびざんから79.1MHzの電波にのせて、徳島文理大学放送部のおちやめな部員たちが、毎週リスナーのみなさまに喜んでもらえるラジオ放送をと、マジメに番組づくりに取り組んでいます。

主な活動としては、大学周辺のお店紹介や、徳島が誇るインディゴソックスの試合のうぐいす嬢おおうっちなこともやっています。もちろん番組づくりに音楽は欠かせません。トレンドイからレトロまで、たくさん音楽をサラダボウルに詰めて込んで、10人の部員が思い思いのドレッシングで味付けをしています。

そして今一番のオススメコーナーはリスナーからの投稿による「大喜利」です。学食に備え付けた応募用紙やメールからも投稿できますので、曲のリンクエストラやゲスト出演も大歓迎です。

和太鼓部(徳島)

「人が音を心で奏でる」とこの言葉から和太鼓部は誕生しました。創部から5年、億は和太鼓という楽器を通して、その年毎に活動テーマを持ち、アーティストとして、徳島文理大学の学生として表現活動をしてきました。昨年は、プレ国文祭(あすたむらんど)に出演し、今年の10月には、おどる国文祭(大人の部)に出演します。その他にも福祉施設のボランティア公演など年間20公演以上の舞台で活動しています。

現在、佐々木香葉子(部長)を柱として、昨年から竹をテーマに舞台上物語要素を取り込み、観客とともに楽しく時間と空間を共有できることをコンセプトとして「阿波の竹姫」を公演しています。今後も冒頭の言葉通り、億らしい活動をしていきたいと考えています。メンバーも随時募集しています。

少林寺拳法部(香川)

私たち少林寺拳法部は、2年ほど前まで部員数の減少により、活気のない部となっていました。しかし、当時の部員の努力により、現在は、男女合わせて20名を超え、日々の練習に活気が戻っています。大会でも多くの賞を取り、ついには、四国で一番の成績を取るまでに至りました。

日々の練習に加え、合宿やキャンパスといった部員全員が行っています。私たちは、少林寺拳法の教えにのっとり体を鍛えるだけでなく、さまざまな活動を通して精神修行や人と人とのつながりを学んでいます。その結果、先輩はもろもろのことに、先輩と後輩も互いに自分の意見を言い合ったり協力し合いながら、部の活性化に取り組んでいます。

今年、柱となっておりまして3年生が引退となり心細い面もありますが、新しい1年生を迎えて、また新たな気持ちで、少林寺拳法部の発展をめざしていこうと思います。

功労賞

- 体育・文化功労賞
- 板崎 良平 (人間生活学部児童学科)
 - 上松 美穂 (人間生活学部児童学科)
 - 吉岡 裕美 (人間生活学部人間生活学科)
 - 野瀬 麻代 (総合政策学部総合政策学科)
 - 山口 健太 (工学部機械電子工学科)
 - 吉本 健太 (工学部機械電子工学科)
 - 木曾 祐美 (短期大学部生活科学科(食物専攻))
 - 徳島文理大学連 (阿波踊り団体)

音楽功労賞

- 住友 理香 (音楽学部音楽学科弦楽器コース)
- 秋月 杏葉 (音楽学部音楽学科管打楽器コース)
- 清原 百由 (音楽学部音楽学科管打楽器コース)
- 高江洲明香 (短期大学部音楽科)
- 野間 愛 (短期大学部音楽科)

村崎凡人賞

- 中嶋 美佳 (文学部文化財学科)

クラブ委員会(香川)

クラブ委員会は、7人の委員で運営しています。クラブや同好会、愛好会活動の活性化を図るための事業や連絡調整を行うことが主たる活動です。

4月には、新入生を対象としたクラブ紹介のオリエンテーションを運営しました。その後、クラブ等の編成をし、6月にはクラブと各クラブ等には毎月の活動状況を報告してもらっています。

随時、各クラブ等の活動を視察して、要望を聞き取り、施設の使用状況などを点検したりして、整理・清掃等を喚起することも大事な活動です。

現在、香川キャンパスの体育系クラブでは、少林寺拳法部や弓道部、女子バスケット部などが好成績を収めています。文化系では、文芸部や軽音楽部が熱心に取り組んでいます。

クラブの活性化が香川キ

億

億

億

億

億

億

億

億

億

億